

株式会社ホタルクス

〒105-0014 東京都港区芝一丁目11番11号 住友不動産芝ビル

www.hotalux.com

製品・お取り扱いなどのご相談

受付時間 平日 9:00~12:00 13:00~17:30

お客様相談室

☎0120-52-3205

FAX. 0748-61-2330

(土曜、日曜、祝日、年末年始および当社指定の定休日を除く)

修理・アフターサービスのお問い合わせ

受付時間 平日 9:00~17:30

修理受付センター

☎0120-334-031

☎0748-61-2361

(フリーダイヤルが利用できない場合)

(土曜、日曜、祝日、年末年始および当社指定の定休日を除く)

HotaluX

LED照明器具 保証書

持込修理

本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

☆印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。

形式は、器具本体に貼られた器具ラベルをご確認いただき、記入してください。

※ 保証内容については裏面をご覧ください。

⚠ 安全に関するご注意

明るく安全に使用していただくため、以下の項目にご注意願います。

- 照明器具には耐用年限があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をおすすめします。
点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1 解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、耐用年限が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(右表)

形名			
保証期間	LED光源、LED電源 5年間	☆お買い上げ日	
	その他(本体、リモコン、カバー、モーター) 1年間	年 月 日から	
☆お客様様	ご住所	〒	
	お名前	ふりがな	
	電話番号	()	
☆販売店			

安全チェックシート 1年に1回は「安全チェックシート」により、自主点検してください。

●安全のために1年に1回は点検をおすすめいたします。

●下欄の安全点検項目について点検し、該当する場合は点検結果欄に○印を記入し、処置手順に従ってください。

下記点検項目以外でも不具合があれば、ご購入した販売店・工事店・メーカー等の専門家にご相談ください。

安 全 点 検 項 目	点検結果・点検年月	／	／	／	／	／	処 置 手 順
1. スイッチを入れても、時々点灯しない、羽根(ファン)が回転しないときがある。							○印がある場合は、危険な状態になっています。 事故防止のため、直ちに使用を中止し、新しい器具にお取り替えてください。
2. プラグ、コード、又は本体を動かすと点滅する。							
3. 羽根(ファン)が回っても異常に回転が遅かったり不規則。							
4. 異常な音がしたり、振動がある。							
5. プラグ、コード、モーター部分などが異常に熱い。							
6. こげくさい臭いがする。							○印がある場合は、危険な状態になっています。 事故防止のため、速やかに新しい器具にお取り替えてください。
7. 点灯時にブレーカーが動作することがある。							
8. コード、ソケット及び配線部品に傷み、ひび割れ、又は変形がある。							
9. 羽根にヒビが入っている。							
10. 購入後、15年以上経過している。							
11. 購入後、10年以上経過している。							○印がある場合は、危険な状態になっています。 事故防止のため、速やかに新しい器具にお取り替えてください。
12. 点灯するまで時間がかかる。※							
13. 極端に明るさが低下している。※							
14. ちらつきが頻繁に生じる。※							
15. カバー、パネルなどに变色、変形、ひび割れなどがある。							
16. 塗装面にふくれ又はひび割れがある、もしくはさびが出ています。							※ランプ使用器具の場合は、新しい適合ランプに交換してください。
17. 器具取り付け部及びランプ取り付け部に変形、ガタツキ、ゆるみなどがある。※							
18. 点灯しているLEDの色味が変化してきた。※							
19. 調光、調色、センサー等の機能が効かない。							
20. 照明器具の近傍に燃えやすいものがある。							

HotaluX 照明器具

LEDシーリングファンライト

組立式

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書添付

保 存 用

一般住宅用

取扱説明書

安全上の注意 お使いになるとき、人への危険や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。この「安全上の注意」をよくお読みの上、必ずお守りください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症などに結びつく可能性がある内容です。

❗

●照明器具の取り付け、取り外しは、取扱説明書に従い確実に行う。
火災や感電・落下によるケガの原因となることがあります。

●交流100Vで使用する。
指定以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

❗

●お手入れの際、主電源を切る。
火災や感電・落下によるケガの原因となることがあります。

●異常を感じたら、速やかに主電源を切る。
異常状態がおさまったことを確認して販売店またはお客様相談室にご相談ください。

●調光器やセンサー付きの壁スイッチは、一般の入切用壁スイッチに交換する。
火災や照明器具の故障の原因となることがあります。
(交換工事は、電気工事店に依頼してください。資格が必要です。)

●付属のワイヤは必ず取り付ける。
落下による、けがの原因となることがあります。

●万一、羽が壊れたときは、全部取り替える。
異常振動により、落下して、けがの原因となることがあります。
・羽根の交換は5枚セットでおこないます。
・羽根の交換は必ず本体を降ろしてから、おこなってください。

●照明器具の改造や部品交換をしない。
火災や感電・落下によるケガの原因となることがあります。

❗

●布や紙など燃えやすいものを器具にかぶせない。

●照明器具の隙間に金属類や燃えやすいものを入れない。
火災・感電の原因となることがあります。

●樹脂製アウトレットボックスには取り付けない。
落下の原因となることがあります。

●羽根取付ネジは、電動工具で締め付けない。
本体ネジ穴のネジ山がつぶれて羽根が落下し、けがの原因となることがあります。

●直接、風のあたる場所に取り付けない。
落下による、けがの原因となることがあります。

❗

●下図の天井には取り付けない。照明器具の落下の原因となります。

●下図の配線器具には取り付けない。照明器具の落下・感電・火災の原因となります。

・取り付け可能な引掛シーリングに交換してください。(ベニヤ板など、補強のない天井には取り付けないでください)

・交換工事は電気工事店に依頼してください。(資格が必要です)

⚠ 注意

誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性がある内容です。

❗

●照明器具には耐用年限があります。
設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

●1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。

❗

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない。

●お手入れの際、水洗いしない。
この製品は非防水のため、火災や感電の原因となることがあります。

●点灯中や消灯直後は本体に触らない。
やけどの原因となることがあります。

●破損したカバーや羽根は直接手で触らない。
ケガの原因となることがあります。

●ファンが回転している間は、羽根に触らない。
ケガの原因となることがあります。

❗

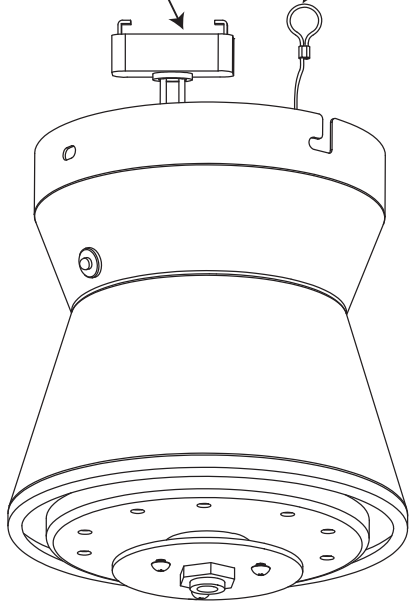
●暖房器具の真上など、温度の高い場所で使用しない。
火災の原因となることがあります。
(この製品は、5℃～35℃の温度範囲で使用してください。)

●LED光源を直視しない。
目の痛みの原因となることがあります。

梱包部品と各部の名称

引掛シーリングキャップ

落下防止ワイヤ



ファン本体

LED光源



LEDプレート



取付金具



カバー



羽根×5枚

付属品



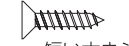
リモコン(1個)



リモコンホルダ用
木ネジ(2個)



リモコンホルダ(1個)



短い木ネジ(2個)



長い木ネジ(2個)



ハンガー用ボルト
(2個)



ローゼット用ボルト
(2個)



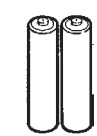
ファン本体取付ボルト(4個+予備1個)
2本は取付金具に組込まれています
(座金組込みねじ)



羽根取付ボルト(10個+予備1個)
(座金組込みねじ)



LEDプレート取付ボルト(3個)
ファン本体に組込まれています。



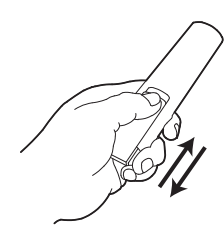
単4乾電池
(2本)
※テスト用

〈乾電池の入れかた〉

1.裏面の電池カバーを軽く押し
ながら手前にスライドさせて
外してください。

2.乾電池2本の⊕ ⊖の向きを
合わせて挿入する。

3.電池カバーをスライドさせて、
カバーを閉じる。



・無理にカバーを押さえると、カバーのツメが
破損します。

・電池ケースのバネがまっすぐになるよう乾電池
を挿入してください。

・乾電池は必ず⊖側から挿入してください。

取り付け上の注意

●取り付けの際は主電源を必ず切る。
感電や不意に作動してケガの原因となることがあります。

●ファンが回転している間は、羽根に触れない。
ケガの原因となることがあります。

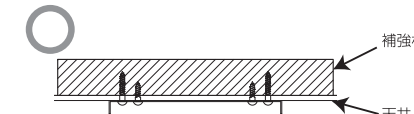
●羽根が破損した場合は必ず羽根を全部交換する。
破損した羽根だけを交換すると、振動落下によるケガの原因となることがあります。

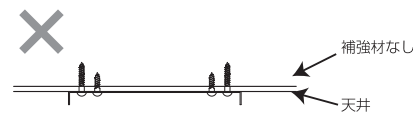
●落下防止ワイヤは必ず取り付ける。
落下によるケガの原因となることがあります。

●器具の取り付け位置は、下図の寸法以上を確保できるところに取り付ける。
下図の寸法未満で取り付けると、振動落下によるケガの原因となることがあります。

天井とまわりの壁面との間がせまい場合、天井が平らでない場所(掘り天井など)、近くに柱がある場所などに取り付けた場合、空気の流れが乱れて、性能が低下したり、本体がゆれたりします。また、傾斜天井には使用できません。

●木ネジを使用する場合は補強材のある箇所に
取り付け。
落下によるケガの原因となることがあります。





- 2 -

故障？と思われたら

ご使用中に異常が生じたときは、下表を参考にお調べください。 下表以外の故障と思われる場合は、主電源を切り、お近くの弊社製品取扱店やお客様相談室にご相談ください。 (器具の形名(器具本体の器具ラベルに表示)と、お買い求め時期をお知らせください。)		
症 状	主 な 原 因	処 置 方 法
点灯しない ファンが動かない	コネクタやシーリングキャップが正常に差し込まれていない。	「6.配線器具にシーリングキャップを取り付ける。」を参照。(5ページ) 「4.ファン本体にLEDプレートを取り付ける」を参照(4ページ)
	壁スイッチ(主電源)が「OFF」になっている。	壁スイッチ(主電源)を「ON」にしてください。
・リモコンで操作できない ・タイマーを設定できない	壁スイッチ(主電源)が「OFF」になっている。	壁スイッチ(主電源)を「ON」にしてください。
	リモコンの電池残量が少なくなっている。	新しい電池に交換してください。(2本)(2ページ)
	リモコンの電池の向き(+,-)が間違っている。電池ケースのバネが曲がっている。	「電池の入れかた」を参照。(2ページ)
	リモコンの電池に充電式の電池を使用している。	新しい電池に交換してください。(2本)
	リモコンと器具本体のチャンネルが合っていない。	チャンネル設定方法を参照。(8ページ)
	他の家電製品(液晶テレビ)などからのノイズがリモコン信号に干渉している。	他の家電製品(液晶テレビ)などの電源を切ってください。
勝手に消灯する	チャンネル2でご使用时、リモコンの乾電池を抜いた、交換した。	乾電池を抜くとリモコンのチャンネルは工場出荷時の初期設定(CH1)に戻ります。
	勝手に消灯する	「タイマー」を設定している。
ホタルックが消灯しない	「安らぎモード」を設定している。	安らぎモード中は、30分間ホタルック点灯した後消灯します。
・チャンネルの設定ができない	確認音が聞こえない。	照明器具から確認音が鳴ります。
	リモコンの複数のボタンを同時に押している。	指先でボタンを正しく押してください。
	リモコンのボタン操作(長押し・短押し)が正しく操作できていない。	チャンネル設定(8ページ)の手順に沿って正しく操作してください。
ファンの風速が勝手に替わる	ゆらぎモードに設定している	ゆらぎボタンを短押しすると設定が解除されます。

保証について（持込修理）

1：保証期間は、商品お買い上げ日から、LED光源及びLED電源は5年間、その他(本体、リモコン、カバー、モーター)は1年間です。
修理をご希望の場合は持ち込み修理(有償)にて対応致します。

2：保証の例外について
・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
・機能に影響を与えない変色等の劣化は対象外とさせていただきます。
・乾電池等の消耗品は、対象外とさせていただきます。
・光束維持時間(光束維持率70%)は、製品の耐用年限を保証するものではありません。
・本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

3：取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(1)無料修理をご依頼になる場合には商品に本書を添えて頂き、お買い上げの販売店にお申し付けください。
(2)ご転居またはご贈答品等で、お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にされない場合には、修理受付センターにご相談ください。

4：保証期間内で次の場合には、有料とさせていただきます。
(1)使用上の誤り、あるいは改造や分解、不当な修理による故障および損傷。
(2)お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
(3)火災、地震、水害、塩害、落雷、その他天災地変、虫害、異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)等による故障および損傷。
(4)一般住宅用以外(例えば業務用)に使用された場合の故障および損傷。
(5)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
(6)保証書のご提示がない場合。
(7)施工上の不備に起因する故障および損傷。
(8)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障および損傷。
(9)商品の引き取りで修理を行った場合の引き取り料については、お客様のご負担となります。
(10)ご使用によるキズや汚れ、自然劣化、異物や雨漏れ等による水の侵入等。
(11)各部材の経時変化による外観劣化やそれに伴う照明機能の低下。

5：保証期間を過ぎている時は、お買い上げの販売店または修理受付センターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

6：補修用品の最低保有期間
(1)弊社は照明器具の製造打ち切り後、8年間保有しています。
補修用品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品で、同等機能を有する代替部品も含まれます。
(2)修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせて頂きます。
(3)修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用する事があります。

7：照明器具には耐用年限があります。
一般的な使用状態で、照明器具の適正交換時期は、8年から10年です。

8：この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理受付センターにご相談ください。
その際は、器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

《個人情報の取り扱いについて》
1：保証書にご記入頂いた住所等の情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させて頂く場合がありますので、ご了承ください。
2：上記利用目的のために、当社が業務を委託する事業者に対し、必要なお客様の個人情報を開示する場合がございますが、この場合、当該事業者に対して当該個人情報の厳重な管理を求め、上記利用目的以外での使用を行わせないように致しますので、ご了承ください。

- 11 -

お手入れのしかた

安全のため、必ず主電源を切ってしばらくしてから行ってください。
点灯中・消灯直後はLED光源や本体が熱いので、手や肌などをふれないでください。

- ・明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃してください。
- ・ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。外郭強度の低下、変質、変色、故障の原因になります。
- ・照明器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にしないでください。
- ・リモコン送信部は定期的にお手入れをしてください。汚れが付着すると、リモコンが効きにくくなります。
- ・汚れを取るときは中性洗剤を含ませた柔らかい布をよく絞って拭き取り、乾いたら柔らかい布で仕上げてください。

使用上に関するお知らせ

- 精密機器のため、落下などの衝撃を加えないでください。
- 長期外出時は、節電のために壁スイッチをOFFにしてください。
- リモコンは、温度の高いところ、湿気の多いところで使用しないでください。
- 水、コーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。故障の原因となります。
- 電池残量の目安(1日10回使用の場合)：マンガン電池(約6ヶ月)
- 付属の電池はテスト用です。新しい電池に交換してください。
- 充電式電池は使用しないでください。
- 電池は、+・-の極性を正しく入れてください。
- 長期間リモコンを使用しない場合、電池を外してください。電池の液漏れによる故障の原因となります。
- 未使用の電池と使用した電池、種類の異なる電池を混用しないでください。電池の液漏れによる故障の原因となります。
- LED光源は、お客様自身での交換はできません。
- 安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に各部の締め付けが緩んでいないか確認してください。
例) 各種ボルト(羽根取付ボルトなど)、木ネジ、カバーなど

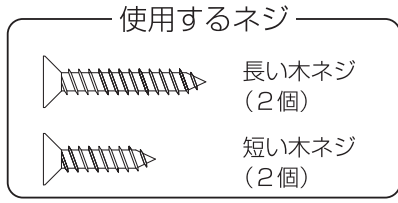
異常や故障ではありません

- 点灯中や消灯後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という「きしみ音」や「摩擦音」が生じることがあります。
- 照明器具の近くでラジオやテレビ、リモコンなどの電気機器を使用されると、雑音が入ったり、リモコンを操作しても動作しない場合があります。
- 天井や壁、床の材質によってはリモコンが反応しにくい場合があります。
- 壁スイッチで電源を切った場合や停電の場合は、リモコンで操作しても動作しません。
- リモコンは信号が届く範囲内で、照明器具に向けて操作してください。
(しゃへい物がある場合やリモコンを壁に取り付けた状態で、リモコン操作を行うと、動作しない場合があります。)
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見えることがあります。
- LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品、同一適用量数商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- チャンネル設定時などの確認音は、照明器具から鳴るため、ご使用環境などによっては聞こえにくい場合がございます。

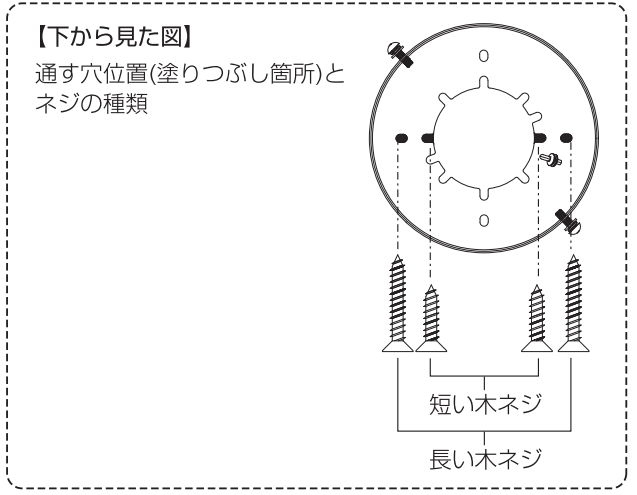
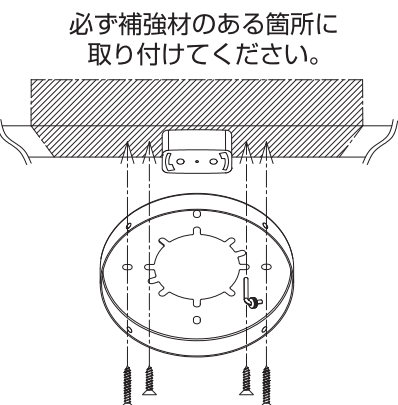
器具の取り付け方法

1. 天井についている配線器具を確認して、取付金具を取り付ける。

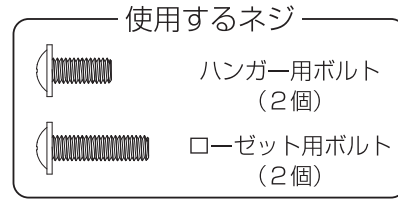
角型引掛シーリング・丸型引掛けシーリングの場合



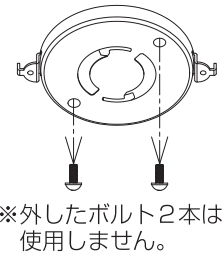
・下図のように木ネジで天井に取付金具を取り付ける。



引掛埋込ローゼット・ツバ付引掛ローゼットの場合

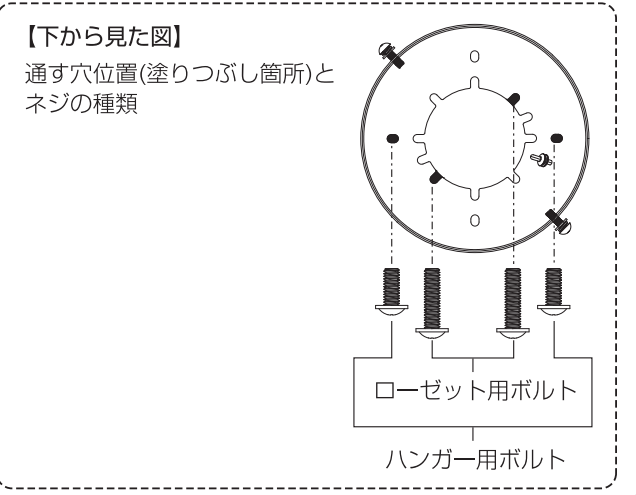
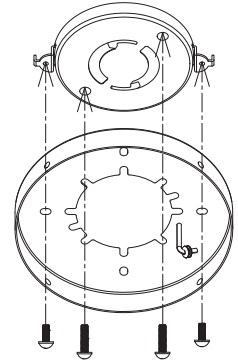


・ローゼットについているボルト2本を外す。

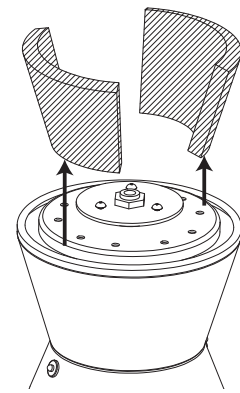
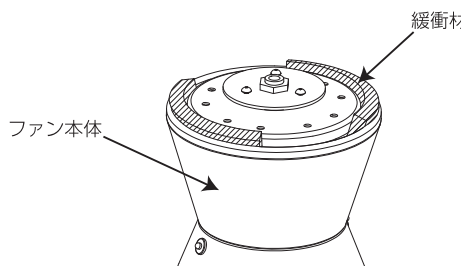


※外したボルト2本は使用しません。

・下図のようにボルトでローゼットに取付金具を取り付ける。



2. ファン本体から緩衝材をはずす。



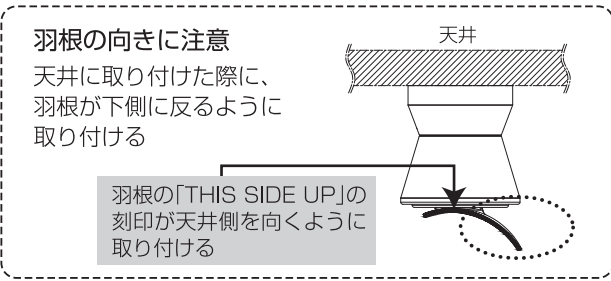
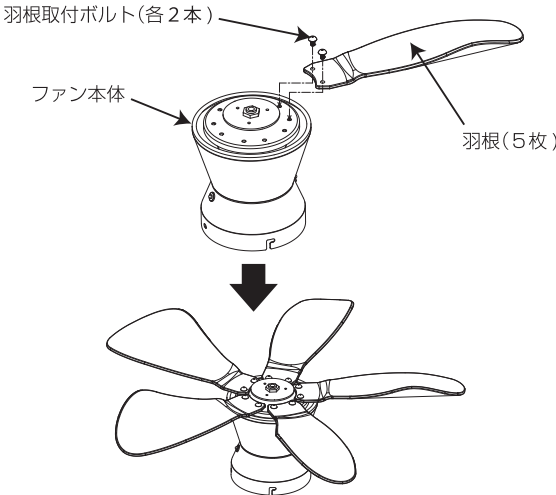
下記の点を確認して、次の作業に進んでください。

チェック	① 取付金具にガタ付きはありませんか？	確認
------	---------------------------	----

器具の取り付け方法

3. ファン本体に羽根を取り付ける。

ファン本体を平らな安定したところに置き、羽根の向き(上下)を確認し、羽根取付ボルト(各2本)で羽根を全て(5枚)取り付ける。



警告

落下のおそれあり

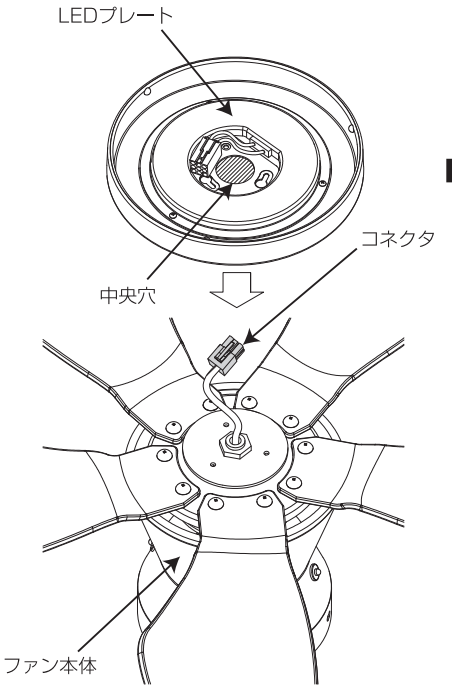
- ・羽根取付ボルトはしっかり締めつける。
- ・羽根は全て(5枚)取り付ける。取り付けが不完全な場合、振動や横揺れにより器具が落下し、ケガの原因となることがあります。
- ・羽根取付ボルトは電動工具で締め付けない。

下記の点を確認して、次の作業に進んでください。

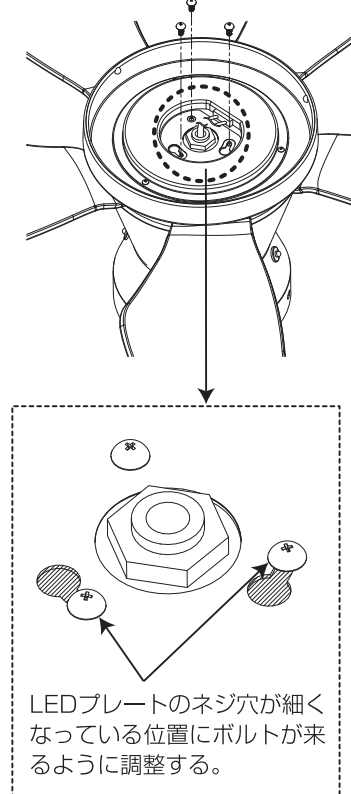
チェック	① 羽根の向きは正しいですか？	確認 ☐
	② 羽根は5枚取り付けましたか？	☐
	③ 羽根取付ボルトは全て確実に締め付けできていますか？	☐

4. ファン本体にLEDプレートを取り付ける。

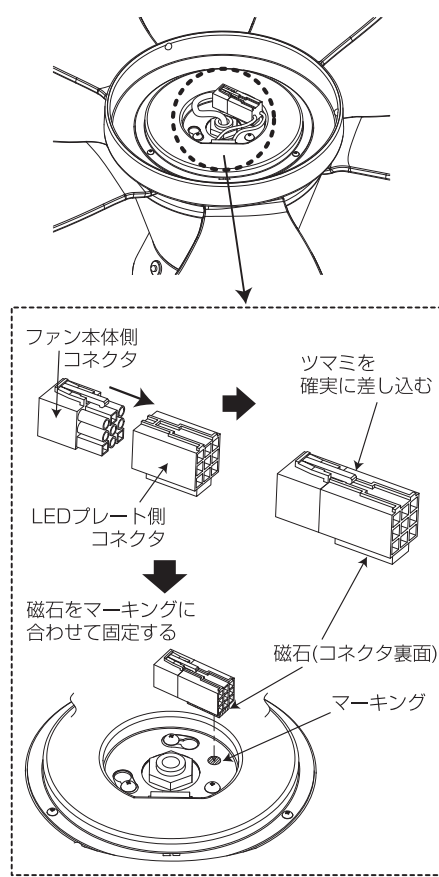
① LEDプレートをファン本体の上に置き、ファン本体から出ているコネクタをLEDプレート中央穴から出す。



② LEDプレート取付ボルト(3本)でLEDプレートをファン本体に固定する。



③ ファン本体側コネクタをLEDプレート側コネクタに接続し、LEDプレート側コネクタについている磁石でLEDプレートに固定する。



定 格

	畳数	形名	定格電圧	定格周波数	器具質量	点灯モード	定格消費電力
LED 照明部	6畳	XZF-06*** SXZF-06***	100V	50/60Hz	3.1kg	ナチュラル	30W
						アクティブ	25W
						リラックス	14W
ファン部	—					—	20W

- LED照明器具の光束維持時間（※）は、40,000時間です。
光束維持時間とは点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
※40,000時間は、照明器具の耐用年数を保証するものではありません。
- 消費電力は常夜灯のみ点灯時には約2W消費し、リモコンOFF時、ホタルック点灯時(安らぎモード含む)は1W以下の消費となります。

●長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

●本体への表示内容

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を本体に行っています。

【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります。

【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に到るおそれがあります。

●設計上の標準使用期間とは

※運転時間や温度・湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

標準使用条件 日本工業規格JIS C 9921-1 及び（一社）日本電機工業会自主基準HD-116-3 による

大項目	中項目	小項目	備考
環境条件	電圧	単相100V	製品の定格電圧による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	施工説明書・取扱説明書による
負荷条件		定格負荷(風速)	取扱説明書による
想定時間など	天井扇	運転時間	10h/日
		運転回数	5回/日
		運転日数	180日/年
		スイッチ操作回数	900回/年
		首振運転の割合	規定しない

注記 環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703 の試験状態を参考としています。

「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置にともない生じる劣化を言います。

※上配の「長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示」は、電気用品安全法の改正に基づき、2009年4月以降生産の製品に記載しています。

チャンネル設定の確認、切替方法

2台目をご使用の場合などはチャンネルの設定を変更してください。

(出荷時は、チャンネル1に設定しています。)

【準備】チャンネルを変更したい照明器具以外は、壁スイッチ(主電源)をOFFにする。

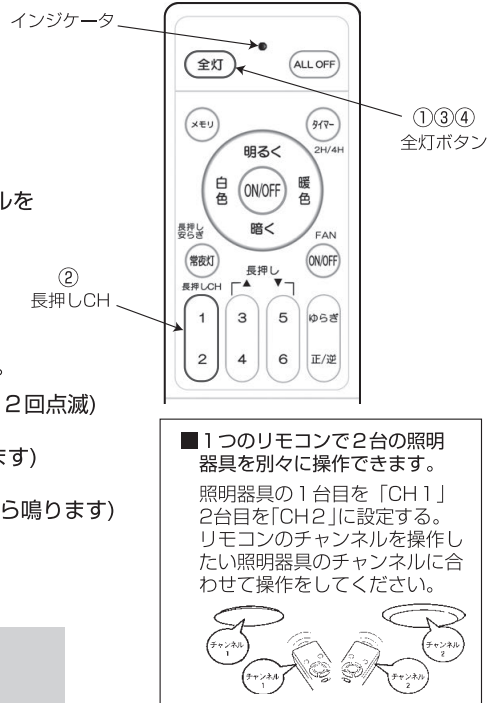
【リモコン確認】

長押しCH のボタンを短押しすると、インジケータの点滅回数で現在のチャンネルを確認できます。(CH1：1回点滅 CH2：2回点滅)

【リモコン操作】

- ① 全灯 ボタンを短押しして、全灯状態にする。
- ② 長押しCH の設定したいチャンネルのボタン(または)を長押し(約3秒)する。チャンネルが切り替わると、インジケータが点滅します。(CH1：1回点滅 CH2：2回点滅)
- ③ 全灯 ボタンを長押し(約3秒)する。(確認音「ピービビ」が照明器具から鳴ります)
- ④ 約5秒以内にもう一度 全灯 ボタンを短押しする。(確認音「ピーピー」が照明器具から鳴ります)※「ピー」のエラー音がした場合、最初から操作をやり直してください。
- ⑤ 常夜灯 ボタンを押して操作できれば設定完了です。

- 注意事項
- ・ リモコンを照明器具に向けて設定してください。
 - ・ ボタンは指先で押してください。複数のボタンを同時に押すと設定できません。



ホタルック機能

ホタルック機能は右記いずれかの方法で主光源または常夜灯を消灯した後に自動的に動作し、淡いブルーグリーンの光(*)でお部屋をほのかに照らします。

※淡いブルーグリーンの先は、約2～3分の間で徐々に暗くなり、自然に消灯します。

- リモコンで消灯
- 壁スイッチ(主電源)で消灯
- 停電による消灯



布団に入るまで安心

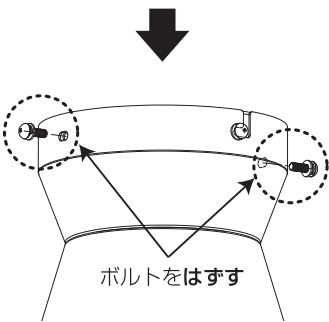
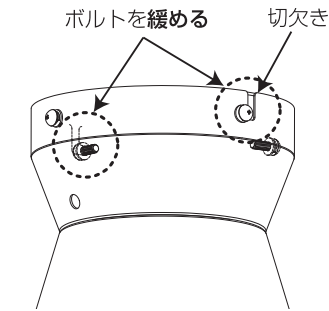


あかりをつけずに寝顔を見守れます

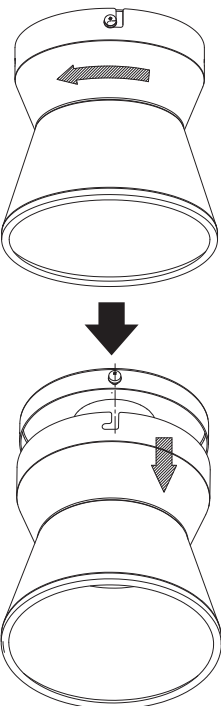
注意：ホタルック機能の「切」設定はできません。

器具の取り外し方法

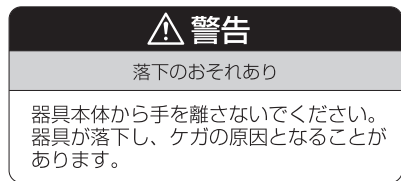
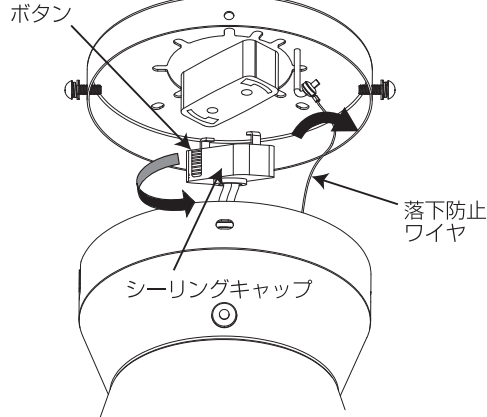
①ファン本体の切り欠き部を締めているファン本体取付ボルト(2本)を緩め、その他の2本のボルトを取りはずす。



②ファン本体を左(反時計回り)に回し、ファン本体を下げる。



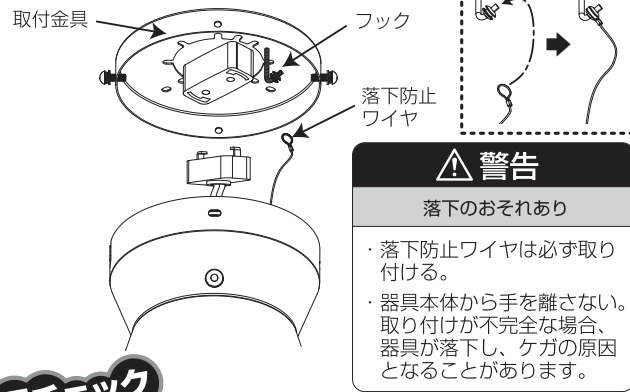
③シーリングキャップのボタンを押しながら左(反時計回り)に回してはずし、落下防止ワイヤのフック引掛け部をゆるめて取付金具フックからはずす。



器具の取り付け方法

5. 取付金具に落下防止ワイヤを取り付ける。

取付金具のフックに落下防止ワイヤを引掛け、ファン本体を仮吊りする。

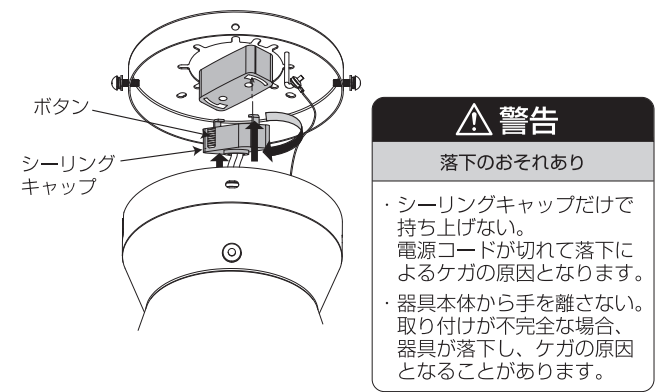


要チェック

シーリングキャップを取り付け後、ボタンを押さずに左(反時計回り)に回して、はずれないことを確認してください。

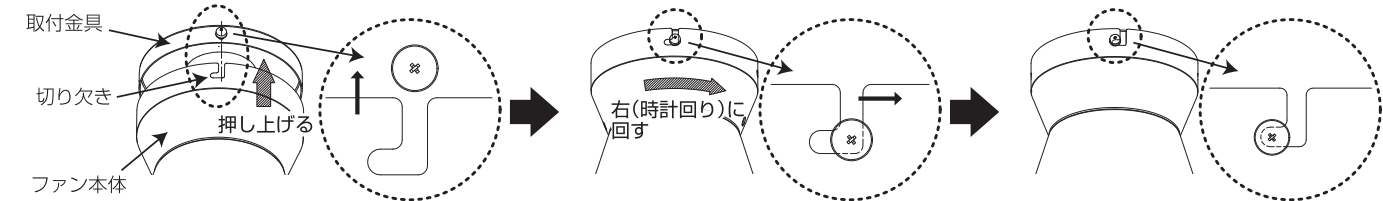
6. 配線器具にシーリングキャップを取り付ける。

シーリングキャップの引掛金具を配線器具に挿入し、右(時計回り)にカチッと音がするまで回す。



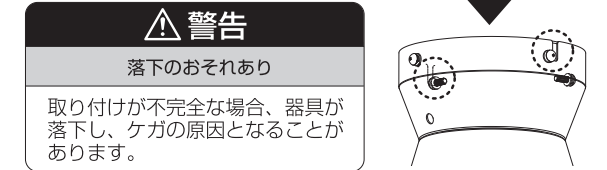
7. 取付金具のファン本体取付ボルトにファン本体を仮固定する。

- ・ 切欠き(2箇所)をファン本体取付ボルトと位置を合わせてファン本体を押し上げる。
- ・ ファン本体を右(時計回り)に回し切欠きをファン本体取付ボルトに仮固定する。



8. 取付金具にファン本体を固定する。

- ①ファン本体取付ボルト(2本)をネジ穴に入れて締める。
- ②(7.)でファン本体を仮固定したファン本体取付ボルトを締める。

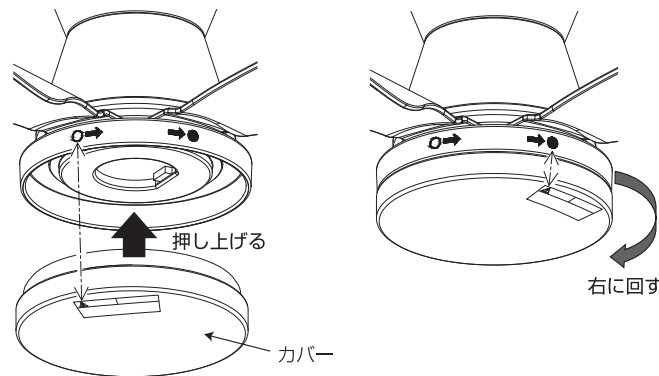


要チェック

本体の取り付けにガタツキがないか確認してください。天井面に対して本体が水平に取り付けできているか確認してください。

9. カバーを取り付ける。

- ・ LEDプレートの○マークとカバーの△マークの位置を合わせ、カバーを押し上げる。
- ・ LEDプレートの●マークとカバーの△マークの位置が合うくらいまで、カバーを右(時計回り)に回す。



取り付け後の点検

取り付け後は、必ず、下記の点検・確認をしてください。

- ① 取付金具と天井面の取り付けにガタつきはありませんか？ ☐ 確認
〈ガタつきがあるとき〉
・ 取付金具を取り付ける本ネジがしっかり締め付けられていますか？ → (P.3)
・ 取付金具を取り付けるネジがしっかり締め付けられていますか？ → (P.3)
- ② 電源電圧は 100V ですか？ ☐ 確認
- ③ 始動して数分後に異常な音が発生していませんか？ ☐ 確認
〈異常な音があるとき〉
・ 羽根取付ねじがしっかり締め付けられていますか？ → (P.4)
・ 羽根が変形していませんか？
※モーター音、風切音は異常ではありません。
- ④ 始動して数分後に本体や羽根などに、揺れや振動はありませんか？ ☐ 確認
〈横揺れ、振動があるとき〉
・ 羽根取付ねじがしっかり締め付けられていますか？ → (P.4)
・ 羽根が変形していませんか？
・ ハンガーのみその位置が取付金具のつめと合っていますか？ → (P.3)
※取り付けが確実であっても、羽根の回転により、横揺れ(2～3mm)が残る場合がありますが、故障ではありません。
- ⑤ リモコン操作と本体の動作は正常ですか？ ☐ 確認
〈異常があるとき〉
・ 取扱説明書の『リモコンの操作方法』を参照し、各動作を確認する。 → (P.6、P.7)

リモコンの操作方法

① 点灯、消灯ボタン(ON/OFF)

- **ON/OFF** ボタンを押すと、光源が点灯／消灯します。(消灯または常夜灯にする直前の点灯モード(色)と明るさでLED主光源が点灯します。)
- **全灯** ボタンを押すと、LED主光源(昼白色の5段(100%))が点灯します。

② 調光ボタン(明るく/暗く) お好みの明るさに調光できます。

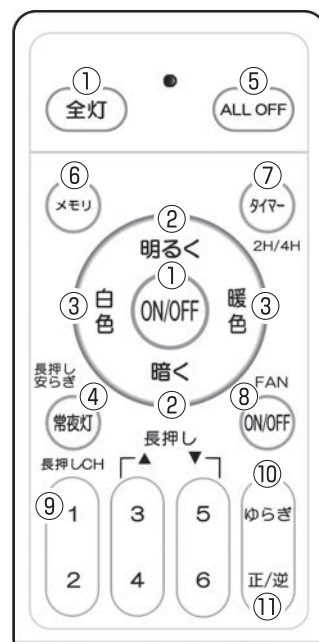
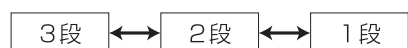
LED主光源「5段階」

- 短押しすると1段階ずつ明るさが調光します。
(確認音が鳴ります。)



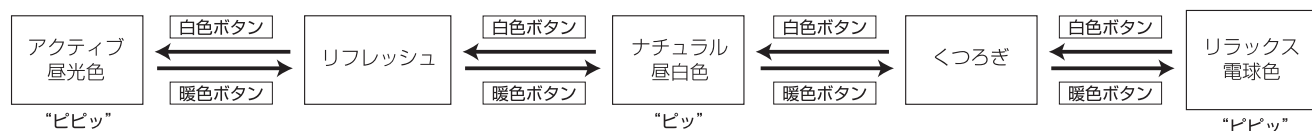
LED常夜灯「3段階」

- 短押しすると1段ずつ明るさが調光します。

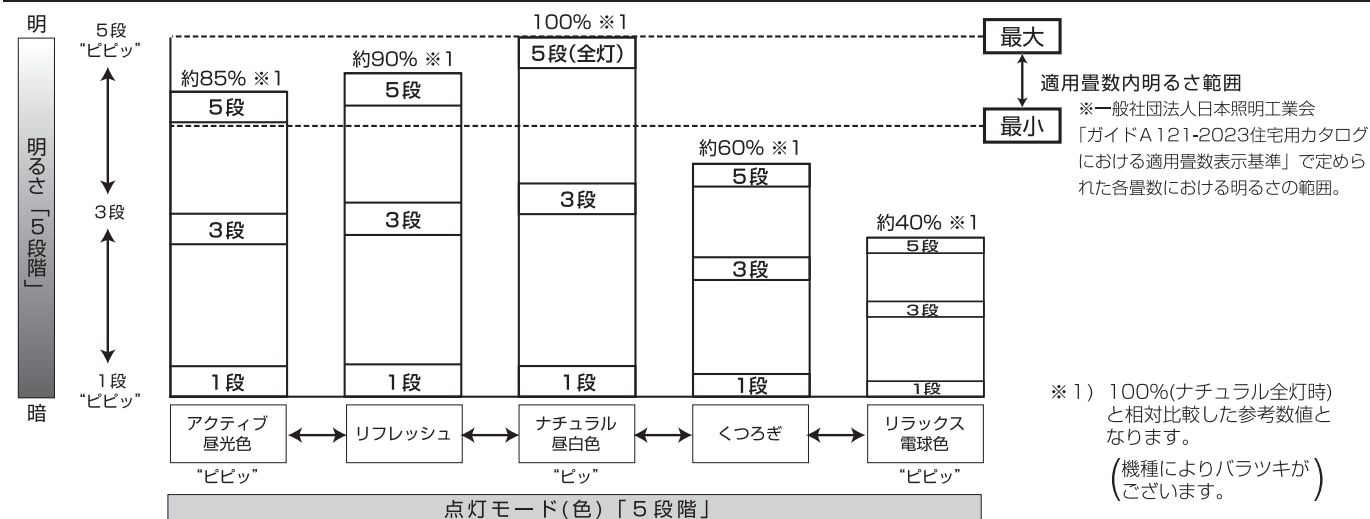


③ 調色ボタン(白色/暖色) お好みの点灯モード(色)「5段階」に切り替えができます。

- 短押しすると1段ずつ点灯モード(色)が切り替わります。(確認音が鳴ります。)



各点灯モード(色)の明るさイメージ



④ 常夜灯・長押し安らぎボタン

- 短押しすると常夜灯(最後に使用していた明るさ)が点灯します。
常夜灯点灯時、調光ボタン(明るく/暗く)で、常夜灯の明るさが調光できます。(" ②調光ボタン " 参照)
- 長押し(2秒以上)するとホタルックが点灯し、約30分後に自動で消灯する「安らぎモード」になります。

⑤ ALL OFFボタン

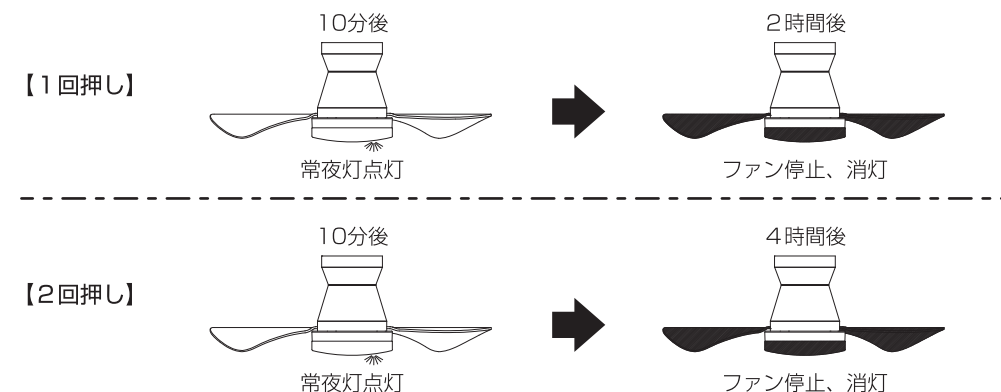
- 光源が消灯、ファンの回転が停止します。

⑥ **メモリボタン** 光の色と明るさ、ファンの風速と風向きの組み合わせを1パターン記憶することができます。

- 長押し(2秒以上)すると現在の光の色と明るさ、ファンの風速と風向きを記憶します。(確認音「ピーピーピー」が鳴ります)
- 短押しすると記憶された光の色と明るさ、ファンの風速と風向きで動作します。(確認音「ピッ」が鳴ります)

⑦ タイマーボタン 2H/4H

- 短押しするとファンが約2時間後または約4時間後にファンが停止し、消灯します。
 - ・ ボタンを1回押しと2時間後にファンが停止、消灯します。(確認音「ピッ」が鳴ります。)
 - ・ ボタンを3秒以内に2回押しと4時間後にファンが停止、消灯します。(確認音「ピッピッ」が鳴ります。)
 - ・ タイマー設定後にもう一度押しとタイマーが解除されます。(確認音「ピーッ」が鳴ります。)
- 主光源が10分後に消灯し、常夜灯が点灯します。

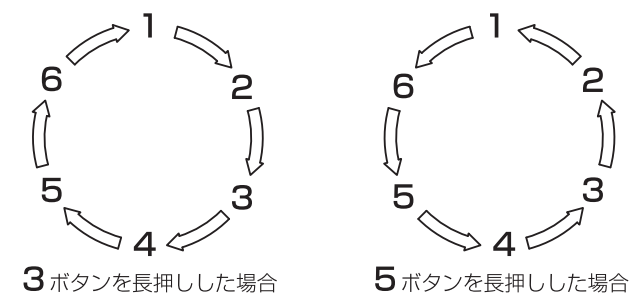


⑧ FAN ON/OFFボタン

- ファンが作動／停止します。(停止直前の風速と回転方向でファンが作動します。)

⑨ 風速ボタン 風速を6段階で調整できます。

- 1～6 ボタンを短押しすると風速の調整ができます。
(確認音「ピッ」が鳴ります。)
- 3 ボタンを長押し(5 秒以上)すると段階的(約 2 秒毎)に風速が上がります。
- 5 ボタンを長押し(5 秒以上)すると段階的(約 2 秒毎)に風速が下がります。
長押しを続けると、風速段階がループします。(右図)



⑩ **ゆらぎボタン** ゆらぎモードでファンが回転します。

- ファン作動時にボタンを短押しすると風速がランダムに変わる「ゆらぎ」でファンが回転します。
確認音「ピッ」が鳴ります。
「ゆらぎ」時にボタンを短押しすると「ゆらぎ」が解除されます。
確認音「ピーッ」が鳴ります。
- ゆらぎは風速段階に応じて変化します。
- ゆらぎ開始後、風速ボタン(1～6)を短押しするとその風速段階のゆらぎに変わります。
「ゆらぎ」時に3、5ボタンを長押ししても風速段階は変わりません。

⑪ 風向切替ボタン 風向きを切り替えられます。

- ファン作動時にボタンを短押しすると回転方向が反転し、風向が切り替わります。

